

中央大学法曹会役員名簿（平成一五・一六年度）

一、顧問・参与

(1) 顧問

東弁（五名）

猪股嘉蔵

小池金市

龍澤國雄

堂野達也

安原正之

一弁（五名）

倉田雅充

設楽敏男

信部高雄

松家里明

柳澤義信

二弁（五名）

大西保

坂本建之助

田宮甫

野宮利雄

松井宣

(2) 参与

東弁（九名）

奥原喜三郎

小竹耕

木川統一郎

児島平

笹原桂輔

篠原千廣

鈴木秀雄

深澤武久

藤井光春

一弁（二名）

竹村照雄

依田敬一郎

二弁（一名）

近藤三代次

二、幹事（○は常任幹事）

東弁（二三八名）

秋知和憲	阿部三郎	荒井清壽	○伊井和彦	石井芳光	井手慶祐	○稲田寛	植松功	榎本逸郎	大澤成美	大塚一夫	小澤治夫	加賀美清七	片岡義広	神谷咸吉郎	北村一夫	木村康定
秋元修二	阿部正博	荒井洋一	飯塚孝	石川秀樹	伊藤茂昭	井上章夫	宇田川濱江	榎本峰夫	太田孝久	大辻正寛	小名雄一郎	笠井浩二	勝野義孝	亀井忠夫	北村忠彦	木村美隆
浅見昭一	雨宮眞也	有馬幸夫	○飯沼允	石葉泰久	伊藤孝雄	井上勝義	内丸義昭	海老原寛	太田秀夫	大西清	小野紘一	笠原克美	河東宗文	川勝則	木戸久義	久木野利光
我妻真典	鮎川定徳	安藤貞一	五十嵐二葉	○石渡光一	伊藤まゆ	井上聡	伯母治之	○及川昭二	○大高満範	小川信明	小山田辰男	柏谷秀男	金井孝雄	川瀬仁司	木下健治	草川健
阿南三千子	新井清志	安藤良一	池田治	市川照己	伊東正	上野廣元	海野秀樹	大澤一正	○大谷隼夫	奥野善彦	海法幸平	春日寛	金澤恭男	○岸巖	木村晋介	楠忠義

馬場 榮次 橋本 幸一 新津 勇七 中村 裕二 中野 博保 登坂 真人 堤 淳一 田中 英雄 竹内 義則 高崎 一夫 芹澤 博志 ○鈴木 康洋 ○白井 正明 穴倉 秀男 佐藤 むつみ 佐瀬 正俊 小山 勲 小林 明彦 倉田 大介

原山 庫佳 長谷川 武弘 西込 明彦 中村 玲子 中村 治郎 内藤 貴昭 津村 政男 高氏 信 竹原 孝雄 高谷 圭一 ○曾田 多賀 須藤 正彦 白石 道泰 島田 修一 佐藤 義行 佐藤 正八 紺野 稔 小林 信明 黒岩 哲彦

平野 智嘉義 八戸 孝彦 西林 経博 中山 忠男 中村 生秀 中島 義勝 寺井 一弘 千葉 憲雄 田崎 信幸 高橋 崇雄 高石 昌子 ○瀬川 徹 水津 正臣 島田 種次 真田 淡史 佐藤 隆男 近藤 智孝 小林 秀正 黒須 雅博

平野 大 服部 邦彦 二瓶 和敏 永松 榮司 中村 浩昭 中陳 秀夫 寺口 真夫 千葉 宗武 田堰 良三 高橋 信 高城 敏郎 関口 徳雄 菅沼 隆志 清水 紀代志 志賀 剛一 佐藤 真喜夫 ○坂巻 國男 小林 元治 厚井 乃武夫

平野 雅幸 羽成 守俊 野口 和俊 ○縄 稚登 中村 茂八郎 中根 茂夫 天坂 辰雄 塚越 豊 田中 紘三 多賀 健三郎 高木 國雄 関口 博 鈴木 修司 白井 典子 志澤 徹 佐藤 勝 佐々木 敏行 小林 喜浩 古賀 政治

一弁 (一〇五名)

青木一男
○飯田数美
伊藤忠敬
○大西昭一郎
加藤慎
川添丈
木ノ元直樹

青木康國
池内雅利
今村敬二
翁川雄一
金澤均
川原史郎
木村宏

赤井文弥
池田達郎
○岩田豊
荻原静夫
金澤優
川辺直泰
窪木登志子

新谷謙一
石田裕久
梅澤和雄
奥平力
加毛修
川村延彦
小林美智子

安西愈
市野澤裕子
大崎康博
小口隆夫
川崎直人
木戸弘
小屋敏一

平松暁子
堀岩夫
松嶋英機
水庫正裕
○村上昭夫
本島信
矢田英一郎
山田茂
湯川將
吉野徹

平松和也
堀合辰夫
松永涉
溝口敬人
村上徹
百瀬和男
矢吹誠
山田俊昭
○横山昭
吉原大吉

福家辰夫
牧野英之
松本泰次
溝口喜文
村田裕
森憲司
山岸憲司
山田八千子
好川弘之
脇田輝次

藤井真人
増田彦一
圓山司
源光信
村田豊
森田太三
山口博
山地義之
吉澤敬夫

船戸実
○松崎勝一
○御園賢治
三羽正人
村田由美子
安岡清夫
山崎哲
山本剛嗣
吉田幸一郎

二弁 (一二名)

石川幸吉	阿部一夫	相川俊明	葭葉昌司	山本繁樹	八木清文	村下憲司	辺見紀男	○深澤守	羽田忠義	中野正人	寺本吉男	田口邦雄	鈴木喜久子	○神洋明	篠原由宏	今野昭昌
石川宏	新井弘二	藍谷邦雄	米林和吉	山本隆幸	柳川恒子	元木徹	細田良一	福吉實	林勘市	奈良道博	遠山信一郎	竹川忠芳	鈴木秀一	杉本秀夫	柴田徹男	斎藤勝
○石黒竹男	新井嘉昭	相原英俊	六田文秀	山本卓也	矢部耕三	森田昌昭	松尾紀良	藤本英介	平手啓一	西坂信	友野喜一	田中茂	鈴木則佐	杉山英巳	島田一彦	齋藤祐一
石黒康	池田眞一郎	青木二郎	○若林秀雄	○山崎源三	森寿男	萬羽了	藤本猛	廣渡鉄	丹羽健介	○豊田泰介	田邊勝巳	鈴木英夫	鈴木辰男	下山田聰明	酒井伸夫	
市毛由美子	石井芳夫	浅見精二	渡邊洋一郎	吉川壽純	山田滋	守屋文雄	宮崎萬壽夫	藤本博史	深澤隆之	萩原平	仲居康雄	綱取孝治	高橋正則	○鈴木和憲	○白河浩	酒井憲郎

吉岡讓治	山田明文	諸永芳春	村重慶一	丸山輝久	堀内幸夫	羽尾芳樹	○中村鉄五郎	友部富司	千葉昭雄	田中宏	鈴木雅芳	猿山達郎	駒沢孝	清塚勝久	笠井直人	岡田弘隆	○岩瀬外嗣雄	伊藤圭一
吉田和夫	山田忠男	安井桂之介	村野守義	三木茂	楨枝一臣	原誠	中吉章一郎	中川隆博	辻居幸一	田中美登里	高野清	穴戸金二郎	齋喜要	切貫総子	加戸茂樹	尾崎毅	岩本公雄	井野賢士
○吉野純一郎	山本實	山岡義明	村山幸男	水嶋幸子	○増田徑子	播磨源二	行方美彦	中川久義	戸谷政美	谷直樹	滝田裕	篠崎敬	齊藤誠二	釘澤知雄	門屋征郎	小野道久	上野操	今中美耶子
萬幸男	雪下伸松	山崎司平	○村山芳朗	宮山雅行	松田啓	船越廣	西川忠良	中斯克博	土井隆	田宮武文	田代則春	杉井静子	坂本行弘	小海正勝	北村晋治	香川一雄	上原康弘	今村健志
脇坂治國	横井弘明	山下清兵衛	森誠一	向井惣太郎	松田政行	古谷龜鶴	西本邦男	中津靖夫	○栃木俊明	伊達俊二	○多田武	○鈴木誠	佐藤優	小林幸夫	木村雅暢	嘉本益巳	遠藤英毅	入倉卓志

和田 敏夫 渡邊 三樹男

三、會計監事

白井 典子 横溝 高至

四、正・副幹事長・事務局長・次長

幹事長 中津 靖夫（二弁）

副幹事長 大高 満範（東弁）

同 奈良 道博（一弁）

同 千葉 昭雄（二弁）

同 橋本 和夫（裁判所）

同 青沼 隆之（檢察庁）

事務局長 原 誠（二弁）

事務局次長 厚井 乃武夫（東弁）

同 内藤 貴昭（東弁）

同 阿部 鋼（東弁）

同 金澤 均（一弁）

同 廣渡 鉄（一弁）

同 宮崎 万壽夫（一弁）

同 同 同 同

山	寺	尾	今
上	尾	崎	村
秀			健
明	洋	毅	志
(檢察庁)	(裁判所)	(二弁)	(二弁)

中央大学法曹会 各種委員会委員名簿（平成一五・一六年度）

一、人事委員会

委員長 松家里明（二弁）

委員（東弁）石井芳光・及川昭二・横山 昭

（一弁）丹羽健介

（二弁）田宮 甫・石井芳夫

（裁判所）橋本和夫

（検察庁）青沼隆之

担当副幹事長 奈良道博（二弁）

担当事務局 原 誠（二弁）

二、広報委員会

委員長 瀬川 徹（東弁）

副委員長 福吉 寛（二弁）・中村鉄五郎（二弁）

委員（東弁）村上昭夫・伯母治之・植村 功・高石昌子・羽成 守

（二弁）山崎司平

（裁判所）寺尾 洋

(檢察庁) 山上 秀明

担当副幹事長 奈良 道博(一弁)

担当事務局 金澤 均(一弁)

三、会則検討委員会

委員長 稲田 寛(東弁)

委員 (東弁) 福家 辰夫・河東 宗文・森

徹

(一弁) 木戸 弘・松尾 紀良

(二弁) 井出 大作・辻 居幸一

(裁判所) 橋本 和夫

(檢察庁) 青沼 隆之

担当副幹事長 千葉 昭雄(二弁)

担当事務局 原 誠(二弁)

四、法職教育検討委員会

委員長 石井 芳光(東弁)

委員 (東弁) 鈴木 康洋・曾田 多賀・井上 勝義・御園 賢治・安田 隆彦

倉田 大介・清水 紀代志

(一弁) 田中 茂・仲居 康雄・萬羽 了・守屋 文雄

(二弁) 鈴木 孟秋・鈴木 雅芳・森 誠一・向井 惣太郎

門屋征郎

(裁判所) 橋本和夫・寺尾洋

(検察庁) 青沼隆之・山上秀明

担当副幹事長 奈良道博(一弁)

担当事務局 阿部 鋼(東弁)

五、大学問題委員会

委員長 田中美登里(二弁)

委員 (東弁) 阿部三郎・荒井洋一・安藤良一・石井芳光

市橋千鶴子・稲田 寛・猪股喜蔵・及川昭二

太田治夫・金澤恭男・木川統一郎・岸 巖

紺野 稔・才口千晴・清水紀代志・菅沼隆志

鈴木康洋・久保野利光・田中紘三・鈴木正貢

平賀陸夫・堀合辰夫・松崎勝一・村田 裕

安原正之・山岸剛司・山本剛嗣・横山 昭

(二弁) 安西 愈・萩原静夫・松家里明・丹羽健介

島田一彦・矢部耕三・柳澤義信・元木 徹

横溝高至・林 勘市

(二弁) 新井弘二・石黒竹男・遠藤英毅・大西 保

齊藤誠二・杉井静子・鈴木誠・多田武

栃木敏明・村山芳朗

(裁判所) 橋本和夫・寺尾洋

(検察庁) 青沼隆之・中津川彰

担当副幹事長 千葉昭雄(二弁)

担当事務局 尾崎毅(二弁)

六、機構改革実行委員会

委員長 新井嘉明(二弁)

委員 (東弁) 飯沼允・北村忠彦・菅重夫・白井典子

中根茂夫・三羽正人・小名雄一郎・堀岩夫

(一弁) 小口隆夫・神部範生・竹川忠芳・山本隆幸

(二弁) 今中美那子・上野操・横井弘明・諸永芳春

(裁判所) 橋本和夫

(検察庁) 青沼隆之

担当副幹事長 千葉昭雄(二弁)

担当事務局 廣渡鉄(二弁)

七、中央大学法曹会募金実行委員会

委員長 安原正之(東弁)

副委員長 佐伯弘(東弁)

榊原卓郎(東弁)

山崎源三(一弁)

岩瀬外嗣雄(二弁)

事務局長 石渡光一(東弁)

事務局員 元木徹(一弁)

伊井和彦(東弁)

阿部鋼(東弁)

担当副幹事長 大高満範(東弁)

奈良道博(一弁)

千葉昭雄(二弁)

担当事務局 内藤貴昭(東弁)

中央大学法曹会役員候補者名簿（平成一七・一八年度）

（平成一七年五月一二日承認予定）

正・副幹事長・事務局長・次長

幹事長 大高満範（東弁）

副幹事長 福家辰夫（東弁）

同 林 勘市（一弁）

同 原 誠（二弁）

同 橋本和夫（裁判所）

同 山下輝年（検察庁）

事務局長 坂巻國男（東弁）

事務局次長 水庫正裕（東弁）

同 阿部 鋼（東弁）

同 若江健雄（一弁）

同 加戸茂樹（二弁）

同 一宮和夫（裁判所）

同 森本和明（検察庁）

中央大学法曹会各種委員会委員長候補者名簿（平成一七・一八年度）

（平成一七年五月一二日承認予定）

一 人事委員会

委員長 中津靖夫（二弁）

二 広報委員会

委員長 根岸清一（二弁）

三 会則検討委員会

委員長 松尾紀良（一弁）

四 法職教育検討委員会

委員長 田中茂（一弁）

五 大学問題委員会

委員長 堀合辰夫（東弁）

六 機構改革実行特別委員会

委員長 三羽正人（東弁）

七 募金委員会

委員長 安原正之（東弁）

編集後記

会報「中大法曹」第二一号を発刊することができました。

中大法科大学院の現状というメインテーマについては、福原紀彦先生には自ら御執筆をいただいたほか、個別のテーマ及び執筆者の選定に御苦勞をいただき、また、執筆をお願いした各先生方には、法科大学院の運営と御指導に極めて御多忙の中、詳細な御寄稿をいただきこの場をお借りして改めて御礼と感謝を申し上げます。

また、中大法科大学院の学生の皆さんには、多忙な勉強のスケジュールのなか時間を割いて貴重な御意見を寄せていただいてありがとうございました。

平成一六年四月に、法科大学院が開講し、当面は現行司法試験制度と併存させながら、新司法試験に移行するという新たな状況を迎えることになりました。

三年の未修者コース、二年の既修者コースがそれぞれスタートし、開講から二年経過後には、初めての新

司法試験が実施され、新たな制度のもとでの合格者が誕生することになります。

その結果は、各法科大学院の消長を決定することになりかねない重要な意味を持つものであり、その合格者を競う各法科大学院の熾烈な闘いは既に始まっております。中大法科大学院もその熾烈な闘いの渦中にあり、関係各位の御苦勞が偲べれます。

中大法曹会としても、中大と中大法科大学院の発展のために大学関係者との連携を密にして、この生き残りの闘いに万全を期さなければなりません。

そうした、重要な時期に臨んで、会報「中大法曹」の内容も、やはり必然的に法科大学院をメインテーマとすることになりました。

中大法科大学院の現状と課題について、多方面からの御執筆をいただき、紙面の多くを占めることになったことも当然の結果と思われます。

中大法曹会は、中大及び中大法科大学院の大きな支援母体として、今後もその支援の度を強めていくことが必要であり、そのための更なる組織の整備が求めら

れております。

そうした観点からすれば、更なる安定した運営のため、後輩の養成も欠くことのできない要請であり、課題であります。

中大法科大学院を卒業し、新司法試験に合格した若き法曹が、出身大学の別を問わず、等しく中大法曹会の会員となり、中大法科大学院を支援するという循環を拡大させることにこそ、中大及び中大法科大学院と中大法曹会の発展の要があるように思われます。

諸先生方の一層の御尽力を御祈念申し上げます。

広報委員会 委員長 瀬川 徹

中大法曹 第二号

平成一七年五月一〇日 印刷 (非売品)

平成一七年五月二日 発行

発行人 中 津 靖 夫

編集人 金 澤 均

発行所 中央大学法曹会

印刷所 株式会社 高千穂印刷所

東京都板橋区向原二二〇一〇

電話 (三九五六) 六五五〇 (代)